

キャラクター名 エウロス (戸籍：ユーロ・ウルトゥル)	プレイヤー名
--------------------------------	--------

シンドローム	ハヌマーン	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	
	ハヌマーン				
オプション		年齢	35	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	憎悪	初期侵食率	40%
出自	天涯孤独	経験	敗北	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	2	1	0	3		6	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	9		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:	2		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
申し子/セレクティッドP		N			
魅空・ウルトゥルP	庇護	N 不安			
『炎の勇者』	P 好意	N 不快感			
ベルスコニアP	敵愾心	N 憤懣			
		N			
		N			
		N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定のダイス+LV個 基本侵蝕+5							
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	【精神】を使用する判定の達成値+[LV×2]							
スピードフォース	1	4	イニシア	至近	自身	自動	ピュア	
効果:	他エフェクトと組み合わせ不可。インフラグアロイスにメイクロイスを行う。未行動のとき使用できる。1シナリオLV回							
サイレンの魔女	7	5	メジャー	視界	シーン選択	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV×3]の射撃攻撃 装甲無視 コンセントレイト不可							
疾風迅雷	4	3	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果:	ドッジ不可 1シナリオLV回							
マシラのごとく	5	5	メジャー	-	単体	対決	80↑	
効果:	攻撃力+[LV×10] ダイス-5個 シナリオ1回							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果:	メインプロセスでメジャーアクションを2回行なえる C値+1 シナリオ1回							
セレリティ	1	5	メジャー	至近	自身	自動	Dロイス	
効果:	即座にあなたは2回メジャーアクションを行う メインプロセス終了時HPを[10-LV]失う シナリオ1回							
ベーシックリサーチ	1	1	メジャー	-	-	-	-	
効果:	全ての〈情報〉: ダイス+[LV+1]個							
蝙蝠の耳	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	10キロ以上離れた先のあらゆる音も聴き分ける。							
軽功	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	すさまじく身軽。垂直のビルや水面であろうとも平地のように走り抜ける。							
効果:								
効果:								

イギリスの大ヒットセラー小説『炎の勇者シリーズ』第1巻、【エリー・エリュートロンと賢者の石】3章に出てくる【「暴風と破滅の魔術師」エウロス】を存在の核として誕生したレネゲイドビーイング。

ウルフカットの銀髪と、翡翠のような両目が特徴。作中でのポジションは、物語の悪役。主人公エリー・エリュートロンのライバル。その強大な力ゆえ傲慢で、激情に駆られやすい性格として描かれている。

「嵐を起こし、大型船を海に沈めた」「彼を嘲笑った者は皆、どこにいようと、一瞬のうちに息絶えた」「風を自在に操ることで疫病を蔓延させ、一国を崩壊せしめた」などという語りで紹介され、実際にそれを実行するだけの性格と強さを持っていた。

第1巻3章で、賢者の石を使い主人公を圧倒するも、終章で石を砕かれ、主人公に敗北する。死を覚悟するも、過去を償うことを条件に見逃され、その場を去った。第2巻終章ではピンチに陥った主人公を助けるなど、心境の変化や、気に入った人間は手厚く扱うといった一面が見られる。最終章たる第7巻終章では、主人公と協力して最悪の敵を打ち滅ぼした。ラストシーン、エウロスは主人公との再戦を望み、惜しくも後一歩のところまで破れ、しかし満足のうちに死した。

外伝作品【暴風と破滅の魔術師/テンペスト】では、エウロスが主人公に会うまでの過去と、本編で描かれなかった場面外の行動が記されている。

◆
誕生後、気になって【炎の勇者】を書いた著者の元を訪ねるが、すでに老衰で亡くなっていた。